

2024年10月10日



～阪神グループのブランド価値経営 & 開業120周年の合同ポスター企画～

「阪神“たいせつ”ストーリー」と 「Hanshin 120th Gallery」がスタートします！

阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区、社長：久須勇介）をはじめとする阪神グループでは、「「たいせつ」がギュッと。」のブランドスローガンの下、ブランド価値経営を推進しています。

その中で、来年（2025年）4月12日に開業120周年の節目を迎えることから、120年間にわたって育んできた阪神ブランド（阪神らしさ）のルーツや歴史、今後目指す姿などを改めて皆さまにお伝えするポスター企画「阪神“たいせつ”ストーリー」をスタートします。

また、当社に残るアーカイブ写真をポスター化して特定の車両内に掲出し、ギャラリー風に鑑賞していただくことを通じて、阪神グループ120年の歴史をより身近に感じていただくポスター企画「Hanshin 120th Gallery」（阪神120thギャラリー）も同時にスタートします。

更に、沿線情報紙「ホッと！HANSHIN」でも、「HANSHIN HISTORY 阪神電車とグループ120年のあゆみ」と題するコーナーを設け、懐かしい写真とともに歴史を振り返ります。

各企画の詳細は、以下のとおりです。

1 阪神“たいせつ”ストーリー

阪神グループのブランド価値経営で掲げる3つの提供価値「あたたかさ・ほんまもん・先進性」の視点から、当社や阪神グループ各社による新旧の取組み等を写真とともに紹介し、「120年ずっと、想いはひとつ」であることを訴求するポスターを数回にわたって制作します。

今回は、その第1弾として、鉄道事業の
“たいせつ”ストーリーをご紹介します。

- (1) 掲出開始日（予定）
2024年10月11日（金）

- (2) 掲出場所
- ・ 「「たいせつ」がギュッと。」ラッピングトレイン内（ドア横ポスター枠）
 - ・ 主要駅構内（デジタルサイネージ等）



阪神“たいせつ”ストーリーVol.01 ポスター

(3) 内容

- ・ 「あたたかさ」「ほんまもん」「先進性」の各視点から鉄道事業の新旧の取組みを紹介するポスター（各1種類／計3種類）
- ・ 「阪神“たいせつ”ストーリー」の企画紹介ポスター（1種類）

2 Hanshin 120th Gallery（阪神120thギャラリー）

来年の開業120周年を控え、当社に残る事業・施設等のアーカイブ写真をポスター化して車両内に掲出し、ギャラリー風にお客さまに鑑賞していただくことを通じて、阪神グループの歴史に触れていただく企画です。「阪神“たいせつ”ストーリー」を視覚的に補完する役割も担っており、**1**のポスター制作に合わせて数回制作する予定です。

今回は、その第1弾として、当社がピックアップした鉄道事業のアーカイブ写真を展示します（シリーズ名：まちをつなぐ）。

(1) 掲出開始日（予定）

2024年10月11日（金）

(2) 掲出場所

「“たいせつ”がギュッと。」ラッピング
トレイン内（車内吊り）



「まちをつなぐ」シリーズポスターの一部

(3) 内容

- ・ 主に明治～昭和の時代における鉄道事業に関するアーカイブ写真のポスター（車両12種類、駅・停留場12種類、その他（車庫、イベント等）12種類／計36種類）
- ・ 「Hanshin 120th Gallery」の企画紹介ポスター（1種類）

(注) **1・2**のポスターとも、今後、記載以外の場所に掲出する場合があります。



「“たいせつ”がギュッと。」ラッピングトレイン

3 HANSHIN HISTORY 阪神電車とグループ120年のあゆみ

阪神電車の開業から現在に至るまでの120年を、6回シリーズで紹介するコラムを沿線情報紙「ホッと！HANSHIN」に掲載します。ときに時代の波に翻弄されながら、沿線と共に歩み、様々な事業を展開してきた歴史を、懐かしい写真や年表を交えて20年ごとに振り返ります。

(1) 掲載号（予定。一部発行済み）

2024年9月号（2024年8月25日発行）

2024年12月号（2024年11月25日発行）

2025年2月号（2025年1月25日発行）

以後未定

(2) 配布場所

阪神電車各駅 ほか

（デジタル版はHH CROSS LIBRARYに掲載）



第1回コラム（2024年9月号掲載）

阪神グループは、「“たいせつ”がギュッと。」のブランドスローガンの下、これからも一人ひとりのお客様の“たいせつ”と向き合い、グループ一丸となって阪神らしいブランド体験を提供し続けることで、その信頼と期待に応えてまいります。

